

オオハンゴンソウ モニタリング報告

はじめに

調査とは別に駆除活動ができる範囲で行っている。駆除は慣れてきたせいもあり、花芽がつく前の葉だけの状態で駆除活動をしている。除草剤を塗布する方法は他の植物の生育に影響がないかを見ていく必要があると感じている。川べりの繁茂に関し、水際に降りての作業はやりにくいところが多くクルミの森から秋元浄水場を通り、秋元湖からの水路に合流して千貫脇の水路はほとんど手が付けられない。

調査日

7月16日 8月3日・17日・18日・21日・22日 9月2日・3日・6日・9日

調査方法

現場では巻き尺で計測。GPSを使用し面積を割り出し、地図へ落した。猪苗代方面に向かって左右を統一して記述した。

レベル基準

- 1 10本以下
- 2 10～30本
- 3 30～100本
- 4 100本以上

調査範囲

- ・ 県道（猪苗代～米沢） 剣ヶ峰交差点～早稲沢元スカイバレー入口跡
- ・ 村道 早稲沢～檜原
- ・ 国道459号線 磐梯朝日国立公園看板～道の駅分岐
- ・ 村道 剣ヶ峰分岐～曾原～孤鷹森
- ・ 村道 五色沼入口～蛇平～小野川～グランデコリゾート
- ・ 村道 秋元湖入口～千貫橋
- ・ 村道 蛇平～クルミの森内
- ・ 県道 剣ヶ峰～レークライン入口跡

今後の活動

今年度は諸橋美術館～ホテルアアルトまでの道路沿い（猪苗代へ向かって左側）の繁茂に驚かされた。花芽の付いた時の草刈り機による除草・放置が原因だと思いたくはないが、水辺や湿地でもないところでもこれだけ繁茂するということなのかもしれない。

刈り取った後の処理の注意は徹底しないと逆効果になってしまう。

桧原湖沿いで繁茂しているところは狐鷹森から早稲沢への県道1か所なので、来年度は東京電力に許可をもらって今のうちに駆除活動を実施したいと思う。斜面は除草剤を塗布しても湖の水位によっては浸水する場所は引きぬきを行う必要がある。

夏休みの繁忙期に重なるので、できるだけ7月中に実施することが望ましい。今年度も行政各区の総会を実施しないようなので、4月中に各区長さんにチラシを持参して説明をする。

調査者

真野真理子 高橋千帆 赤木進二

駆除従事者

立花千秋 赤木進二 長岡幸二 鈴木正代 新井 徹 立花千春 井上康夫
白石永